

全 員 協 議 会 記 録

令和4年11月11日(金)
14時59分～15時42分
議 場

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長
肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、足立議員、村武議員、
川上議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕 市長、副市長、教育長、総務部長、産業経済部長、弥栄支所長、金城支所長、
教育部長

〔事務局〕 局長、次長、大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 道の駅ゆうひパーク浜田の不動産鑑定評価結果について (産業経済部)
- (2) 第2弾プレミアム付はまだ応援チケットの販売状況について (産業経済部)
- (3) 浜田市ふるさと体験村施設における漏水対応について (弥栄支所)
- (4) 浜田市立小中学校統合再編計画の策定について (教育委員会)
- (5) その他

2 総務文教委員会の提言書について(報告)

(多様性社会の推進について～(仮称)浜田市人権尊重のまちづくり条例に対する提言～)

3 第2回はまだ市民一日議会でのアンケート結果について

4 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

〔 14時 59分 開議 〕

笹田議長 | ただいまから全員協議会を始める。早速議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 道の駅ゆうひパーク浜田の不動産鑑定評価結果について

笹田議長 | 産業経済部長。
 産業経済部長 | (以下、資料をもとに説明)
 笹田議長 | ただいまの報告について質疑等はないか。
 足立議員 | 先ほどの説明の中で、不動産鑑定先が本多不動産鑑定事務所ということで市内に1か所しかないとのことだが、このほかの選択肢は、例えば市外でも江津や益田などは含めて考えてなかったということか。
 産業経済部長 | 市内にはまず不動産鑑定していただけたところが本多不動産鑑定事務所の1か所しかいらっしやらない。そういったことで現在、市と本多不動産鑑定事務所の間とで不動産鑑定に係る単価契約を結んでいるので、こちらに依頼した。
 足立議員 | 理解した。次に、この不動産鑑定をして浜田市側の本多氏のほうが原価法、ゆうひパーク浜田が依頼された広島での鑑定が収益還元法とのことだったが、この建物自体が住居ではなく事業用の不動産であり、そうした意味では原価法ではなく収益還元法が適正ではないかと私も個人的に思ったのだが、市がどうしても原価法をベースにもの考えた理由を、深く説明いただきたい。
 産業経済部長 | 本多不動産鑑定士は、買取り予定が市であることから、建物の費用性に着目した原価法のみが適合と判断された。よってゆうひパーク浜田側のように一般的に商業ベースの手法ではなく、市が買い取ることを前提とした鑑定の考え方を取り入れるべきと判断した。
 足立議員 | 理解した。これまでの市の不動産取引では、双方が鑑定評価を行いその額の間を採用されたとのことだが、過去も含めて上と下のちょうど真ん中あたりを取った事例はあるか。今回が初めてか。
 産業経済部長 | 浜田市の事例では、例えば最近では、浜田駅前広場整備事業のホテルや駐車場の例がある。また、土地開発公社の不動産取引では、ワシントンホテルプラザやJ T跡地も同様のやり方で価格設定した。
 足立議員 | 中間点で取った金額が2億1250万円とのことだが、この数字は市の財政規模からいっても結構大きな金額で、負担も大きいだろうと思うが、この売買予定価格について浜田市はどのように捉えているか。
 産業経済部長 | 不動産鑑定評価については、どちらも資格を持った専門家が建物だけでなく会社の経営状況等も踏まえた評価であり、手法が違うにせよ双方とも妥当であると思っているが、鑑定内容を現況に即したものにすることが必要であることから、先ほど説明した3点を調整し、その額を比較することをゆうひパーク浜田株式会社にもご了承いただいた。また6月補正で不動産鑑定料を予算計上している。この不動産鑑定については、不動産評価額に応じて鑑定料が決まってくる。6月補正で不動産鑑定額

を予算計上するために、市である程度評価額を想定していた。その額と今回の買取り予定価格に大きな開きがなく、市が予想した範囲内の額であると考えている。

三浦議員

今の質疑でこの鑑定の妥当性、考え方はわかったのだが、2者の鑑定額を比較され、結果的に9700万円マイナスが左側の理由でされているとのことだが、うち、5380万円は収益還元法による鑑定額がなくなるので、9700万円からそのまま差し引かれる。すると差額が3320万円。この3320万円を3億52万円から引いたという考え方になるのか。

それと土地積算価格というところは原価法に基づいていくところもなくなる計算か。要はこの対象が最終的にどうなったのか。原価法で計算したということなので、この表が対になるように見たい。そこを説明していただきたい。

産業経済部長

9700万円の減額要素だが、700万円は先ほど言った土地の調整分、収益還元法の5380万円、それを差し引いた額で、残り3620万円については、本来の価格でいうと端数があって、3620万円という額が3番の一体原価を使用するということで表した数字とは必ずしも一致しないということだが、残り部分については先ほど説明したように市の一体原価率で使用して、約30%割り戻した評価になっている。

三浦議員

単純にここの数字を引いていったときに計算が合わないのは、その関係だということか。理解した。

笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(2) 第2弾プレミアム付はまだ応援チケットの販売状況について

笹田議長

産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

(「なし」という声あり)

(3) 浜田市ふるさと体験村施設における漏水対応について

笹田議長

弥栄支所長。

弥栄支所長

(以下、資料をもとに説明)

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

足立議員

今の説明の中で、現予算の中でこの漏水に対応されるとあるが、現予算も相当絞った積算をした中で、補正等の対応だったかと推測している。それなのに現予算でこのお金が回るのであれば、そのとき審査したのは一体何だったのだろうと思ったのだが、そのあたりを深く説明してほしい。

弥栄支所長

実際の漏水調査については数十万というところだが、はっきり言って入札減等の対応もできたので、予算の枠内でできるところをやっている。

足立議員

しかし、この漏水状況及び原因の説明がログハウス5棟とか、各棟の修理及び宅内・床下にある給水管等もあるが、これが本当に数十万で

済むのかと言われると、なかなかその推測に至らないのだが、それでも現行予算で大丈夫なのか。3月まで補正は出ないということによろしいか。

弥栄支所長

まず宅内配管については一応当然工事としてやっている中で漏水が発生した。今回、現行予算の中で追加として作業をしたのは、あくまでも本管部分、いわゆる仮にポンプを吸えない状況、今は水が上がってない状況で、その中で本管の漏水調査、水をどこからか引っ張ってきて漏水調査をするのが今回の漏水調査である。

これについて、今後必要な措置が出てくることを想定して、またやりくりできない場合はまた相談させていただくことになるかもしれないが、まず調査はそのようにやっている。

足立議員

何が言いたいかというと、これによってまた再開のめどが延びるのは地元住民のやる気も失われる。そういう状況にはなってほしくないし、せつかく補正をつけてまでやるので予定どおりやっていただきたい。そのためにもし必要なお金があるなら、それはもう補正対応しなければいけないが、いつもぎりぎりになって追加されると、このふるさと体験村の印象も悪くなると思大変心配している。ぜひ予定どおりお願いしたい。

弥栄支所長

肝に銘じる。4月再開に向けて精いっぱい頑張る所存である。

肥後議員

各棟の周囲及び宅内・床下にある給水管から漏水があったと。本管は置いておいて、露出部分の配管だと思うが、現在修繕した部材は何か。

弥栄支所長

まずログハウス等の宅内については漏水がわかった箇所を応急修繕で対応している。一応それで状況を見ながらになるが、場合によってはこれも管をやりかえる必要が出てくるか、施工業者と建築担当課と話し合っている。

肥後議員

その中で、ふるさと体験村、恐らく標高が500メートル前後だと思う。私も担当していたのでその辺はよく知っているが、普通に冬季期間中は気温がマイナス10度以下になることも多数あると知っているの、一つには休止期間中には恐らく電熱ヒーターを露出部分に巻いて、凍結破損しないよう対策してあったと思うが、電気をとめたことによって漏水したのでは。その辺は聞かせていただきたい。

弥栄支所長

いろいろな原因が考えられるので、それも一つの原因だと思っている。ただ、今回再開に当たっては冬季は一応基本的には休止期間を設けるつもりであり、先般議員からもご指摘いただいたように、水抜きをしっかりと今後はやるように整備したいと思っている。

肥後議員

特にログハウスに関しては山の斜面に沿って高さをかさ上げして、露出部分の給水管が多くあると認識しているが、電気だけでなく給水管の部材の選定もよく考えることが必要なのと、地中部分はなかなか簡単には凍結破損しにくいとは思われるが、露出の立ち上げから宅内の間で水抜き栓を別個に設けたほうがよいと思うのだが、その辺については業者と話しているか。

弥栄支所長

今言われたことについて、全部を整理できてない部分もあると思う

肥後議員

ので、建築担当課と施工業者と、また相談させていただきたい。今のところどういったやり直しをするかは、考えさせていただく。

よろしく願います。というのが、直したはよいが予算がこれだけなのでこの範囲でやってくれ、現状に戻してくれというよくある話が、再開するまでに水を張るとまた破損して漏れた、ということにならないよう気をつけてほしい。

三浦議員

ソフト事業の進捗のところで伺うのだが、これからのふるさと体験村をどのようにつくっていくか、地域外の方にも入っていただいて議論を進めておられるのは必要なことだと思うし、よい案がまとまることを期待するのだが、ワークショップなどを見るたびに、毎回地域の強み弱みは何かというところから始まる。議論の積み重ねをしていかないと、いつまでたっても。地域づくりは何歩進んで何歩戻るといふものであることは理解するのだが、議員になる前に、ふるさと体験村の事業に少しかかわったことがあって、そのときにもやった。そういう資料がどれだけ参考にされているかわからないが、そのときには地域の方やスタッフの方とお話しした経緯を含めてまとめたものとして、それはそれで一つの資料だと思う。それを見ながら、足りなければまたやるべきだとも思うし、そのあたりはしっかり、過去のこれまでの事業ややってきたことはもちろん参考にされていると思うが、念のため確認しておきたい。

弥栄支所長

実際今携わっている方でも、当然それを経験された方がいらっしゃり、当時のことを覚えておられ、記録は残っているところもある。そういったものは一応、今回入っていただいた事業者にも、経過なりの資料は渡して、その中でスケジュールを組んでもらった。ただその中でも、新しく参加された方、今後そこを中心に担っていただく方、そういう方も含めてもう1回整理すべきということでこのようなスケジュールになったと思っている。

三浦議員

それなら結構かと思う。要は形にして動くところはやっていかないといけないので、議論はもちろん必要だが、正解を求めていることをじっくりやっても形にならない。やりながら修正をするような動き方のほうがよいのではと私は思う。これだけ時間かけてやっているわけだから。もう1回動かしていくことを望んでいる地域の方や周りの方もおられると思うが、その期待に応えられるように。これだけのお金を再投資して再始動していくわけなので、弥栄の人たちの思いと、浜田市民やこれから訪れる人の思いがしっかりマッチするような、ふるさと体験村の再生に期待して。これまでの経緯もしっかり含めて熟した議論を期待したい。

笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(4) 浜田市立小中学校統合再編計画の策定について

笹田議長

教育部長

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。
(「なし」という声あり)

(5) その他

笹田議長

執行部から報告事項があるか。
(「なし」という声あり)

議員から何かあるか。

川上議員

この時期、各地でいろいろな行事が行われたと思う。浜田であればBB大鍋、金城であればさざんか祭り、弥栄であれば物産、そういう状況の報告はしていただけるか。

産業経済部長

私からBB大鍋フェスティバルの開催状況について報告する。11月5日の土曜日10時から、浜田お魚市場周辺の特設会場においてBB大鍋フェスティバルが開催された。今年も新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き大鍋の配食は取りやめた。しかし500円以上の買い物をした方に対してアンコウやイカの配付があった。

また、先般設置したお魚市場のイベントテントでBUY浜田ダンスや石見神楽、ダンス、アンコウのつるし切りショーなどが行われている。県の飲食制限等もなくなり、飲食関係では市民の店やキッチンカーの多くの出店があった。飲食スペースも設置され、多くの人でにぎわった。来場者は主催者発表で約3千人とのことだった。

笹田議長

川上議員、三隅がまだ終わってないので、全て終わってからまとめて報告でもよろしいか。

川上議員

情報は熱いうちがよい。今わかる範囲でお願いしたい。

金城支所長

金城地域では11月5日、6日の2日間、ふれあいジムかなぎにおいて第33回さざんか祭りが開催された。1日目は2300人、2日目は3200人が来場され、各種催し物の回覧や出店での買い物など、さまざまな形で祭りを楽しんでいた。3年ぶりの開催であり来場者からは、開催を待っていたとの声もいただいている。地域の方々から愛されるイベントであることを改めて認識した。

弥栄支所長

弥栄産業まつりを11月3日に3年ぶりに行った。当日は天候もよく、多くの来場者を迎えることができた。新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食・飲酒は現場では禁止で、テイクアウトのみとさせていただいた。また祭り時間も、通常は1日やるのだが、半日程度で。飲食を伴わない部分を全面に出してさせていただいた。当日急に辞退されたところもあり、祭りは大丈夫かと心配もあったが、一応1800人ということで、多くの方を迎えることができた。再開できただけでも十分効果があったと感じている。

笹田議長

旭と三隅については後日お願いする。

川上議員

3年ぶりということで、いずこも非常に盛況だったとのことだった。今後またコロナについて第8波がこれから波及してくる。今週またあちこちでいろいろな行事がされるが、コロナも考えながら。3年ぶりということで皆しっかり頑張っただければと思う。

笹田議長

ほかに。

- 足立議員 先日新聞にて、高校文化連盟自然科学部門の研究発表会があり、浜田高校から三つの発表が全国大会へ進み、来年鹿児島県へ行かれるということが報道された。先般も浜田高校野球部の話だけではなく、文化部にもしっかり教育委員会に対応していただきたいとお話したが、こうしてすごく頑張っている高校生、子どもたちに対しての支援。教育委員会は当然ご存じだろうと思うが、こういう子どもたちにどのように市民の方々に対して、浜田高校の生徒が頑張っていることをPRされるのか、お考えを伺いたい。
- 教育部長 浜田市内の各高校、文化部も運動部だけでなく頑張っているということで、こうした支援を考えているかという質問があった。高校魅力化コンソーシアムの中で、各高校の支援、どうしたことがあるか協議する中で、また可能なことがあれば来年度予算化していきたい。
- 足立議員 広報はまだなどで教育委員会がまずは浜田高校の生徒が頑張っているということをPRされるべきではないか。浜田高校野球部はフルカラーで1面だった。それを考えると文化部の扱いは少し違うのでは。その考えをもう一度伺う。
- 教育部長 文化部の扱いがもう少しあってもよいのではという質問だったが、ご指摘のとおり、頑張っている高校生についてはPRの記載を考えていきたい。
- 足立議員 部長から前向きなご答弁をいただいたので、次の広報はまだには、子どもたちにスポットが当たるようにぜひお願いしたい。
- 笹田議長 ほかに。
- (「なし」という声あり)
- 以上で議題1を終わる。執行部はここで退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

2 総務文教委員会の提言書について（報告）

- 笹田議長 総務文教委員会、永見委員長、お願いします。
- 永見委員長 (以下、資料をもとに説明)
- 笹田議長 ただいまの報告について質疑等はないか。
- (「なし」という声あり)

3 第2回はまだ市民一日議会でのアンケート結果について

- 笹田議長 資料は皆見られたと思うが、おおむねよかったという内容が多かったように思う。今は8、その他を見てもらったらわかるとおり、発言者へのフィードバックということで先日10月27日の全員協議会で、各委員会ですら事務調査で取り上げることになっているが、その件については11月4日付で発言者へ郵送している。今後の予定は取り上げた結果及び経過の報告、締め切りが12月14日となっている。発言者への返答内容確認については12月19日の月曜日、全員協議会で行いたい。これについて何かあるか。
- (「なし」という声あり)

4 その他

笹田議長
三浦議員

最後に議員から何かあるか。

議会広報広聴委員会からの報告を1点させてほしい。主権者教育に関する取り組みについて、当委員会で所管させていただいており、島根県立大学との共同研究に取り組んでいる。現在大学側と協議を進めているが、活動内容についてはおおむね固まったので、その件を報告させていただく。

まず議員との対話の場づくりを、規模感はまだ決まってないが開催を考えている。もう一つ情報発信に関する若年層から認識を伺いながら、我々の意識を共有していくというような講習会の実施、それからこれは希望者を想定しているがインターンシップの受け入れ、この3点について大学側から提案をいただき、調整を進めている。まだ先ほど申し上げたように例えば議員と大学生との対話の場づくりに関して、規模感や日程など詳細を詰めている段階なので、また皆に協力いただくこともあるかと思うが、その節にはご理解ご協力をよろしく願います。12月1日の全員協議会で改めて詳細を報告できるかと思うので、引き続きよろしく願います。

笹田議長

ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

では私から1件。先日11月8日、9日と東京において全国市議会議長会関連の会議に出席してきた。8日には相談役会議、9日には部会長会議、最後には理事会、評議員会の合同会議に参加した。特に会長提出議案のうち、今浜田市も考えている、多様な人材の市議会への参画推進に関する決議を決定している。その中では、地方議員の位置づけ、議員の職務の明確化、会社員が立候補しやすい労働構成の見直し、兼業禁止要件の緩和等、現在国において議論されている内容が盛り込まれている。その動向は注視していく必要があると感じた。

またその後、全国市議会議員互助会に関する会議も開催された。その後に令和5年度、6年度、2か年の全国市議会議長会の会長の選考手順を西地区から選出することになっているため、副会長として連絡調整会議に出席した。この会議において次期会長は近畿部会から選出することを確認した。

簡単だが以上を報告としたい。ほかにないか。

(「なし」という声あり)

最後に1点事務連絡がある。

河上局長

12月1日から定例会議が始まるが、個人一般質問の締め切りは11月22日火曜日11時となっている。ファックス・メールでの提出は前日の21日月曜日、11時までの受け付けとなっている。未送付、未確認防止のため、送付後にお電話いただくようご協力をお願いする。

笹田議長

以上で全員協議会を終了する。

[15時 42分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓